

投稿日:2020年09月17日

タイトル:意外と知らない?「蝶(ちょう)」と「蛾(が)」



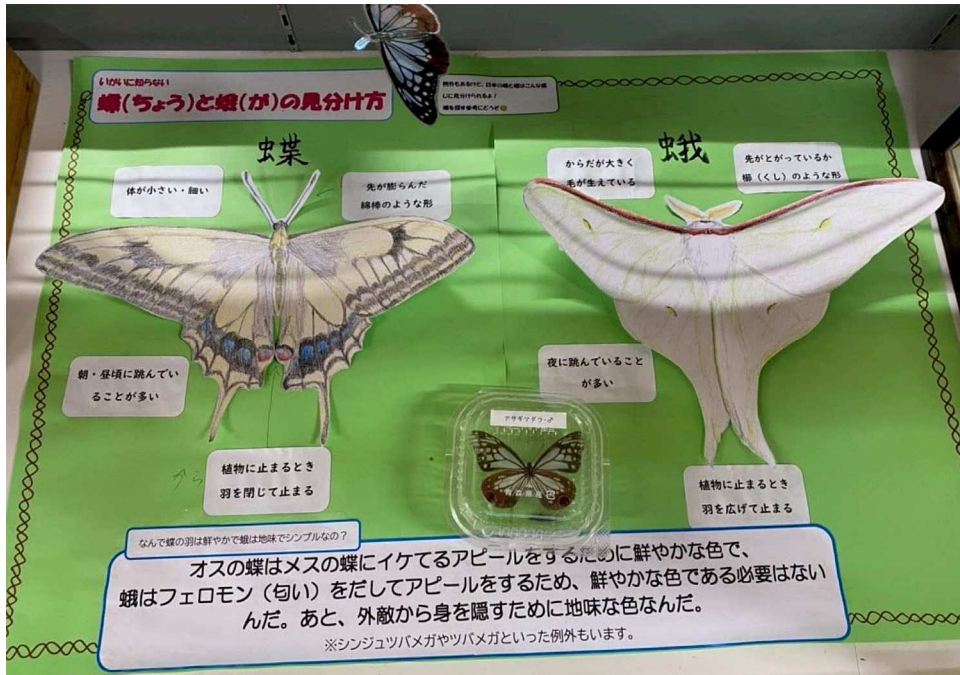
10時 30分 20℃ 天気:晴れ

皆さんこんにちは！

今日は蝶(ちょう)と蛾(が)についてお話したいと思います。

一般的に「蝶は鮮やかできれいな色をしていて、蛾は地味な色をしていて汚い」という様なイメージを持っている方が多いと思います。

しかし、蝶も蛾も「鱗翅目(りんしもく)」という昆虫の部類になり、はっきりとした区別がありません。実際に「アゲハモドキ」と呼ばれる「クロアゲハ」「カラスアゲハ」によく似た蛾も存在しますし、白くもこもこした毛を持つ「オオミズアオ」の旧学名は「*Actias artemis*」と呼び、「月の女神アルテミス」が由来になるほど綺麗で美しい蛾もいます。



逆に「ヒョウモンチョウ」のような比較的シンプルな蝶もあります。なので、例外がいくつかあるので、区別する事が難しいのです。

日本に生息する種類は例外が少なめなので、見分け方は大体このような感じになります。

○触角の形は蝶はほとんどが先が膨らんだ綿棒のような形で、蛾はとがっているか櫛のような形。

○止まる時にほとんどの蝶は羽を閉じ、蛾は羽を広げたまま。

と言ったところになります。



他には「蛾は夜行性が多く、蝶は昼行性が多い」「胴体の部分が膨らんでいるか・細いか」などと言われたりしますが、これは蛾でも昼に活動する種類が多くいますし、胴体が細い蛾もいるので見分け方としては難しいです。

自然の家では「アサギマダラ」や「カラスアゲハ」など様々な蝶が見られるので、訪れることがありましたらぜひ探してみてください(^◇^)

※写真は自然の家で撮影した「カラスアゲハ」です。

(アゲハモドキは皆で調べてみてね！)

(よよよよ)